

『校訓』 創造 正義 明朗

『学校教育目標』 「東中魂」をもった生徒の育成

「ひ」人をおもいやる東中生【思いやり】「が」がんばる東中生【努力】「し」しっかり考え行動する東中生【自主的行動】



東中通信 第2号

令和5年5月22日(月)

文責 校長 福嶋 光浩



入賞おめでとう(Congratulations!)

- 女子卓球 (社会体育) 天草桜まつり卓球大会
女子団体戦 (TTC 天草) 3位 女子個人戦 準優勝 村上桜海
 - 女子バスケットボール (AIR MIX 社会体育)
天草郡市中学生バスケットボール大会 3位
 - 男子ソフトテニス (社会体育)
県中学選手権ソフトテニス八代大会 準優勝 山田豪・山口煌心ペア
 - サッカー部 久々山旗天草郡市中学校サッカー大会 3位
- ※部活動、社会体育でのみなさんは、6月18・19日の郡市中体連大会に向けてあと1ヶ月時間を大切にして悔いが残らないように練習に取り組んでください。

体育大会 5/14(日)

雨のため1日順延し、当日は絶好の天候の下、体育大会が開催できました。生徒会テーマの「志」が全競技の中に見られ、東中の歴史に残る大会になったと思います。16日(火)の全校朝会では、一つ行事が終われば一つの区切りを意識し、日常生活では学習を中心に力を入れていくことを話しました。1年生は集団宿泊、2年生は修学旅行等が計画されています。3年生は進路に向けて体育大会で築いた学級や学年の絆を大切に学校生活を過ごしてほしいと思います。また、保護者の皆様には環境整備を行い体育大会に華を添えていただきありがとうございます。



【黄 団】



【青 団】

学校の学習はなぜ必要？

昨年度12月のアンケートでは、「学校が楽しい」と答えた生徒は87%でした。みなさんの中には、「なぜ、学校の勉強をしななければならないのか？勉強は大人になって役に立つのか？」などの疑問をもっている人がいると思います。現在の高校進学率は約96%です。1950年代では60%を下回り、1960年代には80%に上昇しました。以前は、「家業を継ぐ」のが大半で、例えば、家が農業なら子どもは農業を、大工なら大工を継ぐために親や家族から仕事をやり方を高度に経験させていました。高校進学率にあるように、高度経済成長時代からはそれまでにないたくさんの仕事が出現し、経験だけから生きていくことが不可能な時代になってきました。したがって、狭い日常の生活範囲(家族・生まれた場所)だけで学ぶだけでは通用しないので様々な進路の可能性を開くために学校で勉強することが更に重要になってきました。例えば、修学旅行で歴史的な建造物を見て、「大きいな」とか「古いな」と思う人もしばしば、「あの物語に出てきたあの建物だ!」とか「この柱は〇〇様式で何やら王が趣味で造らせたんだ。」などと同じように、知識があるかないかでは経験の質が違ってきます。英語が当たり前になり、外国との取引、外国人労働者が、必要になれば当然、英語が必要になります。学校で学ぶことは日常生活で経験できないことを「文字や記号」などで学ぶので、学ぶ必要性を理不理解していない人にとっては、「勉強は退屈でつまらないもの」と感じる人も多いと思います。しかし、それが学校ならではの学び、賢い人は歴史の中の誰かの成功や失敗から自分で自分に生かしていくと言っています。「読書や学校の勉強がなぜ必要か」が少しは理解できたと思います。もちろん勉強だけでなく、人と人のコミュニケーションや人間関係がもたらす大切なこととも言ってもありません。

※参考文献「学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか」 広田照幸 著